

はじめに

第1．調査の目的

(1)調査の目的

三重県においては、平成11年度、平成12年度の2か年をかけて、「伊勢湾再生ビジョン策定調査報告書」を策定した。この報告書は伊勢湾に対し特に深い関わりを有している三重県として、健全な姿で伊勢湾を次世代に継承していくための基本理念、取組について調査、検討を行ったものである。この報告書においては、伊勢湾再生に向けた基本的な取組として

環境への負荷が少ない循環を基本とした「良好な水質・底質の保全」
自然と人間が共生する「多様な自然環境の保全と生物多様性の確保」
循環と共生に育まれ、実感できる「伊勢湾文化の保存・継承・創造」
伊勢湾の環境の保全・創造を基調とした「持続可能な利用と安全の確保」
伊勢湾再生に向けた共通基盤として「調査・研究」「参加・実践」「情報・交流」

の5つの方向を示した。

さらに、これらの具体化を図るため、三重県として、戦略的に実践すべき取組として

水質改善プログラム

沿岸整備改善プログラム

ベイ・アクセシビリティ・プログラム

の3つのプログラムを提案している。

これを受けて、三重県においては、ベイ・アクセシビリティ・プログラムのうち、住民が気軽に海辺に接近し触れ合うことができるパブリックアクセスの向上に向けて、基礎的な検討を行うこととした。

この調査は、伊勢湾沿岸におけるパブリックアクセスに関する現況調査等を行うとともに、パブリックアクセスの向上に向けた基本方針や、整備のあり方等について検討するものである。

(2) 調査の進め方

本調査は、以下の調査フローを設定して着手している。

また、関係機関及び庁内関係課で構成される伊勢湾再生連絡調整会議パブリックアクセス部会を設置し、そこでの検討を踏まえてとりまとめた。

